

## 暖房器具による火災の予防

暖房器具に代表される「ストーブ」は一般家庭での普及率が高い製品です。最近、エアコンやファンヒーター、電気ストーブが普及していますが、石油ストーブは電気を使用しないことから、災害対策用品としても注目され、使用されています。「ストーブ」は不注意や使用方法を誤ることで火災になるケースが多く、周りに置かれた可燃物が輻射熱や直接ストーブに触れるなどして、火災になるので注意が必要です。外出、就寝の際は、必ず暖房器具の電源を切りましょう。

### (火災事例)

- ・石油ストーブを部屋の片隅において使用していたところ、近くにあったカーテンに燃え移った。
- ・電気ストーブの上に洗濯物をつるして乾かしていたところ、洗濯物が落下し、燃えた。
- ・石油ストーブの火を消さずに、給油タンクに給油し、タンク室に入れようとしたところ、タンクのキャップが外れ灯油が漏れ出し、ストーブ周辺が燃え広がった。

### (注意点と予防方法)



- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない！
- ・ストーブの上に洗濯物を乾かさない！



- ・使用燃料を確認し、誤った燃料を給油しない！



- ・必ず火を消してから給油する！
- ・タンクのキャップはしっかり閉める！